

### そんけい すべき ムスリム の みなさま!

ぜんのう の アッラー (スバーナ ワ タアーラー) は、よみあげた アーヤ を とおして つぎ の ように つげて おられます。「**しんじる もの たち よ。あなたがた は しんそこ から くいあらためて アッラー へ たちかえり なさい。そう すれば あなたがた の しゅ が、あなたがた から その あくじ を けしさて、かわ が その した を ながれる らくえん へ とはいらせて くれる こと も ある だろう**」。<sup>1</sup>

また、アッラー の しと (かれ の うえ に しゅくふく と へいあん あれ) は、ハディース の なか で つぎ の ように かたっています。「**くいあらためる もの は、つみ を おかした こと の ない もの の ようで ある**」。<sup>2</sup>

### しんあい なる しんこうしゃ の みなさま!

にんげん には、つね に ぜんりょう で よろこばしい もの の ほう へ むかう こと が もとめられて います。ぜんのう の アッラー (スバーナ ワ タアーラー) の めいれいと きんし に そつて せいかつ を おくつて いても、こい か いな か に かかわらず、ときと して つみに ひきこまれる こと も あります。なぜなら、ひと には ぜんあく の りょうめん が そなわつて いる から です。タウバ、すなわち くいあらため という おくりもの は、ぜんのう の アッラー (スバーナ ワ タアーラー) から、その しもべ に さづけられた おんちようと しょくざい への とびら です。

### しんあい なる ムスリム の みなさま!

タウバ には、みずから の もうしひらき を し、みずから の つみに たいする しんじつ、こころ から の くいあらため を あらわす こと を とまいません。あやまち や つみに て を そめず、いこう は それら を さけて いこう という いし を しめさなくては なりません。それは、じぶん の よくぼう や がんぼう に かつしな い と やくそく する こと を いみ します。タウバ とは、つみ で よごれた みずから の こころ の さび を とりのぞく こと です。きれいな じょうたい に もどした、あたらしく きよらかな はじまり の こと です。それは ぜんのう の アッラー (スバーナ ワ タアーラー) に、あい と よろこび を こう こと です。

### しんあい なる しんこうしゃ の みなさま!

サッタール (おおいかくす おかた) であり、ラヒーム (じびぐかい おかた) であり、ラフマーン (じあいあまねく おかた) である ぜんのう の しゅ (スバーナ ワ タアーラー) は、つぎ の ように つげて、わたしたち を くいあらため へと まねいて おられます。「**みな そろつて くいあらため、アッラー に たちかえり なさい。そう すれば、あなたがた は さかえる だろう**」。<sup>3</sup>

ですから、たん に タウバ の もんごん を くりかえす だけ で は なく、こころ から しんじて タツワブ、すなわち くいあらため の しゅ に たちかえり ましょう。タウバ・ナスーフ、すなわち せいじつ で しんし な くいあらため を もつて こころ と たましい を きよめ、しゅ (スバーナ ワ タアーラー) との きずな を ふかめ ましょう。もとめられる しもべ に なれずに いた こと を、なみだ を ながして くいあらためる ように しまししょう。

<sup>1</sup> Tahrim, 66/8.

<sup>2</sup> Ibn Majah, Zuhd, 30.

<sup>3</sup> Nur, 24/31.